



# ここにいるから

Vol. 17

発行 2022.11.1  
発行者 天草漁協

天草エアライン 永岡社長 & 天草漁協イルカ調査室 高崎

## 1周年特別対談 「イルカでつながる空と海」



### 【対談企画】

9月のとある日、願っていたことがひとつ叶いました。それは  
天草エアラインの永岡社長と  
イルカをテーマに話したい



です。「ここにいるから」の祝一周年記念という

(こじつけ) 節目にあたり、よし、今だ〜!

と、対談をオフアール、実現しました。かんしゃ!

この号では、その時の様子をレポートします。

場所は天草空港、イルカの飛行機(みぞか号)

の発着が見える部屋にて。さらに進行役を、みつ

ばちラジオのパーソナリティ森本さんにお願

しました。和気あいあいとした雰囲気なか、い

つかのテーマに沿って話していきます。

内容は、機内誌の特徴、寄稿の裏話、二人の出

会い、お互いの仕事への思い入れについてなどか

らはじまり、徐々に核心へ。対談の主目的は、イ

ルカを通じてSDGsについて意見交換をすること。

さらにそこから、空のイルカのシンボルである天

草エアラインと、陸での活動である天草イルカ調

査室が、天草の海の野生のイルカたちと、どんな

未来を創造していくことができるのか。持続可能

な天草の未来のために、どんな役割が果たせるの

か。かなり深い話しをすることができました。

イルカ調査室は、この海の魅力と価値、危機に

ついて学び、それを伝えていく役割。エアライン

はイルカの住む海を抱える地域としての地方活性

化、それを支えるインフラとしての役割。両者と

も、地域に人がいるからこそ成立することであり、

また、イルカたちは、それを応援してくれるなん

とも心強い(しかも可愛い)パートナーだな、と

いうことを確認することができました。1時間ほ

どの対談は、楽しくあつという間に過ぎました。

終盤、窓の向こうでは、みぞか号が飛び立つ轟音

が響いていました。☆永岡社長ありがとうございました☆

### SDGsってなんだろう

今回、対談企画の前に、イルカをテーマにSDGsを考える、という勉強会を行いました。SDGsは最近ますます、目に、耳にするようになってきましたが、実はよくわからない...という方も多くと思います。イルカ調査室では、SDGsの支援活動として、学校や企業、地域グループなどで、SDGsのレクチャーを行います。対面とオンラインのどちらでも開催できます。興味のある方は、ぜひお気軽にご相談ください。

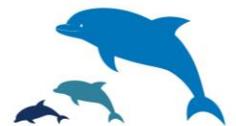


## 天草イルカ調査室

天草漁協 通詞島沖イルカ環境実態調査事業



やってるよ!



# Amakusa Iruka Lab SDGs

記事や活動についてのお問い合わせ



天草イルカラボ



amakusa\_dolphin